

(別紙4(2))

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム 音和の家

作成日： 令和 3年 9月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げ過ぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |          |                              |  |   |                |
|----------|----------|------------------------------|--|---|----------------|
| 優先<br>順位 | 項目<br>番号 | 現状における問題点、課題                 | 目 標                                      | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                                | 目標達成に<br>要する期間 |
| 1        |          | コロナ禍において面会ができない。             | 家族は窓越しの面会を希望される。                         | 居室の外から窓越しに面会ができるようにしていく。(緊急事態宣言時以外)               | 6ヶ月            |
| 2        |          | コロナ禍で2か月に一度の運営推進会議が開催されていない。 | 運営推進会議の開催は困難だが、何らかの形で関係者各位に情報開示をおこなっていく。 | 2か月に一度、ホームの現状を報告書を作成し行政や運営推進会議のメンバーや家族に知らせる       | 3ヶ月            |
| 3        |          | モニタリングが不十分であった。              | 介護計画が支援の基になるため、計画に対するモニタリングをおこなう。        | 見やすい書式を作成し定期的にモニタリングをおこなっていく。                     | 3ヶ月            |
| 4        |          | 看取りの指針記録                     | 医療の必要性がなく、看取りを希望されている場合は支援する方向である。       | 現在、看取りを希望される方はいないが、今後希望があった場合に備え、事業所独自のものを作成していく。 | 6ヶ月            |
| 5        |          | 災害時の備蓄・避難場所の確認<br>ハザードマップ    | 法人の総合訓練の他にグループでも自主訓練をおこなう。               | ハザードマップや避難場所の確認をおこない、グループでの自主訓練の実施と記録の作成に取り組む。    | 6ヶ月            |

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。